

読書感想文の書き方

高学年用
下書き

感想文を書き始める前に、各段落の骨組みとなる、ことがらを書き出してみましよう。

本の題名

作者の名前

段落①書き出し (べ)うしてこの本を選んだか・この本を読んで自分のもった一番強い思いなど。()

〈例〉この本はずっと家の本だなにあったけれど、難しそつで今まで読む気にならなかった。けれど……／あきらめないっていうのは本当に大切なことだ。／ぼくは、自分が今どれほどラッキーなのかが分かって、おどろいている。

段落②あらすじ (い)つ／(べ)ごで／だれが／なにをしたか、簡単に短くまとめよう。()

〈例〉カンザスの少女ドロシーは、竜巻で家ごとオズの国へと飛ばされた。その後、ドロシーはオズの国中を旅してまわり、ついにカンザスへ帰る方法を見つける。

段落③自分の心の動き (この出来事におどろいて、こんなふうに思った・この言葉が胸に刺さったなど)。()

〈例〉わたしの生きているこの世界で、こんなにも多くの人々が飢えて苦しんでいると知って、おどろいたし、とても悲しくなった。

段落④なぜ心が動いたのか (自分も似たような経験をしたことがあり、気持ちがよくわかるからなど)。()

〈例〉ぼくがもし、そんな立場だったら、きつとあきらめてしまつ。けれども、〇〇はどんなにじつらくてもあきらめなかった。だから、ぼくは、よかったと思うと同時に、ちょっとくやしい気がするのだ。

段落⑤本から学んだこと (〇〇が、どんなに大切なことがわかった・自分も〇〇でできるよつになりたいなど)。()

必要なら、この二つの段落を何度かくり返す。

〈例〉わたしの持っている幸せを少しずつでも他の人に分けてあげたい。そのために……／たくさんの人が、研究を重ねて、今の便利な世の中が成り立っていることがわかった。ぼくも大人になったら、人の役に立つ技術を……

全部書けたら、下書き用の原稿用紙やノートに、感想文を書いてみよう。

